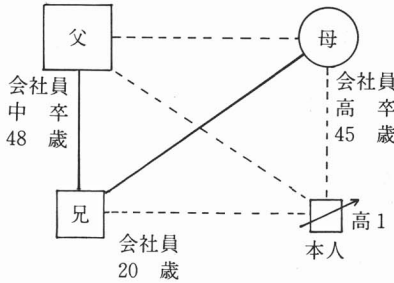


軽率でよく考えずに行動したり、自己統制力がな
いと思っている。

検証尺度	0	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
危険性の段階	C (危険性小)					B (危険性大)							
パーセンタイル	1	10	20	30	40	50	60	70	80	85	90	95	99
F. 家庭不応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
S. 学校不応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
E. 自己不応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
H. 対人不応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
P1. 性格1 (意志的)	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
P2. 性格2 (感情的)	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
P3. 性格3 (思乡的)	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
N. 規範意識性	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
問題傾向	男	-20	30	40	50	60	70	80	90	98	110	130	
女	-20	30	40	50	60	70	75	80	90	95	110	130	
ASS得点 (78)	タイプ (MP)												

——社会的次元——

● 家族構成・家族関係



本人は、家族のいずれからも孤立している。特に父親とはうまくいかないという感情を持っている。夫婦仲も良くない。全体に家族間の結びつきが希薄である。

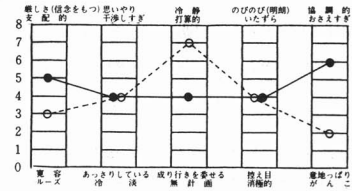
● 家族成員の性格と養育態度

父親は、周囲の思惑を非常に気にするタイプである。その一方で他人の非を責める傾向も見られる。

父親の養育態度は、A男の小学校時代から、A男の性格や行動を心配し何とかしたいと考えていたが、実際場面では本人との接触が少なく、接した時も、指示・命令的になることが多かった。

母親は、冷静で現実的であり、他人の思惑を気

● エゴグラム (高1)



—— 父, ----- 母

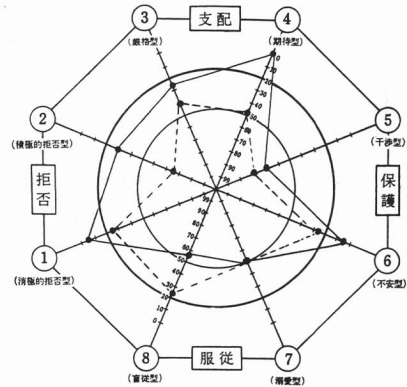
にせず、思ったことを率直に言うタイプである。

母親の養育態度は、父親と同様にA男の性格や行動を心配していたが、実際場面でのふれあいの時間が少なく、その接し方も命令・指示的になることが多く、また、放任の傾向もある。

両親とも養育態度に一貫性を欠き、また、互いに不一致感を抱いている。

兄は活発な性格であり、本人と対照的である。

親子関係診断検査 (田研式) (高1)



型	父	母
9. 矛盾型	0	35
10. 不一致型	35	25

—— 父
----- 母

——実存的次元——

対人関係をもつことが不得手でありながら、接客業である旅行関係の仕事につきたいというアンバランスな進路希望を持っている。

自動車会社につとめている兄の影響でモーターバイクに興味を持っている。自転車を趣味とし、よくサイクリングに出かける。

5. 診 断